

愛媛県の飼養豚及び野生イノシシにおける 市販 Enzyme-Linked Immunosorbent Assay (ELISA) キットを用いた A 型インフルエンザウイルス 抗体保有状況調査

吉澤 頌樹[†]

愛媛県家畜病性鑑定所（〒791-0212 東温市田窪743番地1）

（2025年4月1日受付・2025年5月15日受理・2025年8月8日公開）



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/78/8/78_e105/_article/-char/ja

要 約

本研究では、愛媛県の飼養豚及び県内で捕獲された野生イノシシにおける A 型インフルエンザウイルス（IAV）抗体保有状況を調査した。試験には、2022 年に豚を検査対象とした動物用体外診断用医薬品として承認を受けた市販の Enzyme-Linked Immunosorbent Assay（ELISA）キットを使用した。飼養豚における IAV 抗体農場陽性率は、繁殖豚 66.7%，肥育豚 38.9%，個体陽性率は、繁殖豚 28.3%，肥育豚 13.9%であったことから、IAV が愛媛県の養豚農場に広く浸潤していることが示唆された。また、野生イノシシにおける IAV 抗体陽性率は 1.6%であったことから、愛媛県において野生イノシシが IAV の感染環に関与している可能性は低いと考えられた。

——キーワード：enzyme-linked immunosorbent assay (ELISA)，A 型インフルエンザウイルス，豚インフルエンザ。

----- 日獣会誌 78, e105～e109 (2025)